

福井新聞 平成24年 7月12日

中山商事(株)

恐竜将棋で脳力育成

紙加工製造の中山商事(本社福井市高木中央2丁目、中山裕一朗社長)は、子どもの知育教材として本県のブランドでもある恐竜をデザインした紙製の将棋「きょうりゅう将棋」を商品化した。商品を活用し、保育園や幼稚園で脳力育成教室を展開する。(宇野和宏)



中山商事が商品化したきょうりゅう将棋。福井市高木中央2丁目

中山商事(福井)が紙製 新商品

3寸四方、厚さ1センチの駒は「ティラノサウルス」「トリケラトプス」などのキャラクターが画面にデザインされた8種類40個。従来廃棄していた紙の端材を再利用して製作した。

将棋盤は15寸四方(3マス×3マス)から40寸四方(9マス×9マス)まで4種類。基本的に将棋のルールを踏襲し、駒を盤上で動かし相手の駒を取るなどして遊ぶ。ほかにも子ども用に考案した「迷路」や「かくれんぼ」などオリジナルのゲーム

保育園などで教室も

ームが楽しめる。

商品を生産した同社の石内奈々絵さん(28)は将棋の元女流アマ名人。石内さんは「私自身、将棋を通して集中力や想像力、先読み力が鍛えられた。恐竜将棋が、楽しく遊びながらの知育に役立てば」と話している。

価格は2千円。出張講座の受講料は入門編が1回(2時間)1万円、本編(全8回)が6万5千円。

問い合わせは同社☎0776(53)8000。

元女流アマ名人企画